

## 新成人と市長が意見交換

成人式前日の1月10日④に、「市長と夢トーク・若者編」と題して、宮川地区出身の新成人4人と松崎市長が座談会で小浜の人口問題について熱く語り合いました。

### ■新成人と夢トーク



写真左から、畠中優希さん(大戸)、清水有貴さん(本保)、松崎市長、林まなみさん(竹長)、泉岡未来さん(本保)

**宮** 川地区で、1月10日④に、新成人と松崎晃治市長が意見交換する「市長と夢トーク・若者編」が行われました。

「夢トーク」とは、市民の意見を市政に生かすことを目的に、毎年、市長が市内全地区をまわり、座談会を開催するものです。市では、現在、取り組んでいる人口減少対策について、若者の意見を取り入れようと、「若者編」を企画。宮川地区出身で、現在は、県外の大学や専門学校に通う新成人4人が参加して、市長と語り合いました。

座談会では、新成人から「いま学んでいる専門性を生かした職業に就きたい」、「就きたい職業のために市外に出る友達も多い」など、職業についての意見が交わされました。また、参加者全員が、結婚については

### 「専門性を生かした職業に就きたい」「若者が集まるイベントがあれば」



宮川公民館(加茂)で母校の恩師も参加して語らう

25歳〜30歳ぐらいを考え、結婚後も働き続けることを希望しました。

市長が、「若い人にとって、小浜は住みにくいですか」と尋ねると、新成人たちは、「前は都会の方が楽しいと思っていたが実際に住んでみると違った」、「小浜の人はみんな温かくて親切」と、地元の良さを口にしていました。一方で、買い物をするところや映画館などの娯楽施設の不足なども課題として挙がりました。

将来の小浜の姿については、「穏やかな雰囲気は変わらずにいてほしい」、「ライブなど若者が集まるイベントがもっとあれば」などの希望が出され、市長は、「とても参考になった」と、笑顔で話していました。

## 高校生が人口問題を研究

若狭高校では、昨年9月から1月までの5カ月間、普通科の1年生9人が、選択授業で2040年問題に取り組み、分析・研究した結果を、市に提案しました。

### ■高校生からの提案

**若** 狭高校(千種一丁目)では、1年生の基礎研究として「2040年問題を考える」をテーマに、昨年9月から週1回授業を行ってきました。授業を選じた生徒9人は、日本創成会議座長・増田寛也さんの著作『地方消滅』や、市人口減少問題検討ワーキンググループがまとめた人口減少要因分析などを教科書に、研究を進めてきました。



授業で2040年問題に取り組む生徒たち

### 県立大学の学部増設で小浜を学生のまちに

また、同校の1年生326人を対象に、「2040年にあなたはどこに住んでいると思いますか」「地元に住まない理由は」など人口問題に関する6項目のアンケートを取り、分析を行いました。

分析の結果、女性は、将来の居住地が進学先の大学がある場所に影響される傾向が強いことが分かり、生徒たちからは、「都会に住むことが本当に幸せなことなのか」「女性が学びやすい環境を作れないか」などの、意見が出されました。

最終的には、「教育のまちづくり」と題して、県立大学小浜キャンパスの学部増設を軸とした対策をまとめて、2月16日⑤に市長に発表。学生のまちなをすることで、地域の雇用拡大や社会環境の充実につなげようと、提案しました。

### 多くの人にUターンしてもらえる対策を

この授業に取り組んで、自分が住んでいる地域の人口がどんどん減っていることを知り、驚きました。

ぼくは、このまちが好きです。通学バスの本数が少なくて、不便なこともありますが、治安が良くて、安心して暮らせるまちだと思います。

就きたい職業があるので、将来は地元に住んでいなくてもいいかもしれません。でも、自分が帰る場所がなくなると寂しいので、授業では、多くの人にUターンしてもらえるような対策をみんなで頑張つて考えました。

人口問題について対策を考えている地方は、福井県や小浜市だけじゃないので、同じ課題を抱えている地域同士が協力していけると、より良いまちづくりができると思います。

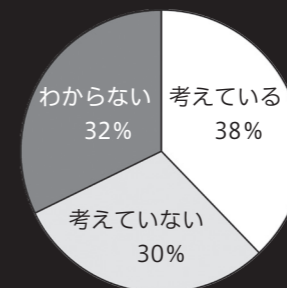


若狭高校1年2040年問題班 班長 竹内大輝さん(15歳)

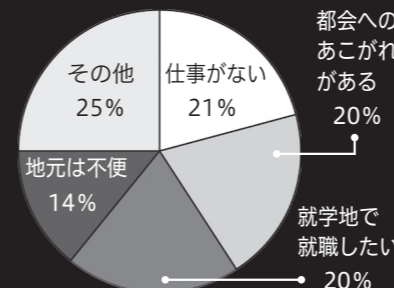
### 新成人200人に聞きました

1月11日⑥に行われた成人式の会場で新成人を対象に意識調査を行いました(参加者292人中202人が回答)。結果を一部抜粋して掲載します。

■問い合わせ 企画課 ☎64・6008



⑥卒業後、小浜へのUターンを考えていますか?



⑦小浜にUターンしない理由を教えてください

### 2040年問題とは?

有識者による日本創成会議が、昨年5月、2040年には若年女性の流出により、全国の半数にあたる896の市区町村が人口減少による消滅の可能性があると発表しました。

政府は人口減少対策の5カ年計画「まち・ひと・しごと創成総合戦略」を閣議決定。日本創成会議座長の増田寛也さんによる著作『地方消滅』も注目を集めています。



著作『地方消滅』も注目を集めています。

統計によると、小浜市の人口は、昭和25年の38,554人から、60年間で7,214人減少。2040年には、20〜39歳の女性人口が約40%減少して、人口全体は23,372人になると予測されています。市では、市長を中心とした人口減少対策本部を設置。定住促進などの対策に取り組んでいます。